

平成28年度 新潟市モビリティ・マネジメント推進協議会

北陸信越運輸局からの報告

交通政策部環境・物流課

平成28年6月9日

○エコドライブ、公共交通利用促進等

自治体等によるイベントなどを活用し、パネル展示、DVDの放映によりエコドライブの推進を行うとともに、子どもを対象に路線バス及び鉄道車両を模ったペーパークラフト型塗り絵コーナーを設置し、広く環境に優しい交通の普及・利用促進を行っている。



新潟市環境フェア
 (平成27年10月4日)
 DVD放映、パネル展示、塗り絵コーナー実施等

とやま環境フェア
 (平成27年10月17日、18日)
 パネル展示、クイズ形式アンケート実施等

エコドライブ 10のすすめ

- ふんわりアクセル「Sスタート」
- 急発進にゆとりをもつて、加速・減速の少ない運転
- 減速時は早めにアクセルを離そう
- エアコンの使用は適切に
- ムダなアイドリングは止めよう
- タイヤの空気圧を定期的に確認しよう
- タイヤの空気圧を定期的に確認しよう
- 不要な荷物はおろそう
- 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- 自分の燃費を確認しよう
- エコドライブ普及推進協議会



セーフティCarにばる石川
 (平成27年10月5日)
 パネル展示、アンケート実施等



電気自動車の普及促進

平成21年6月創設

平成28年5月31日現在647事業所が登録

(北陸信越運輸局管内 152事業所)



公共交通利用推進等マネジメント協議会

(認証制度事務局：国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団)

1. 制度の趣旨・目的

エコ通勤に関する取組みを積極的に推進している事業所、自治体を優良事業所として認証し、登録するとともに、その取組み事例を広く国民に周知することにより、エコ通勤の普及促進を図る。

2. 認証対象

全国の事業所（行政機関を含む）のうち、一定の基準を満たした事業所を対象とする。

- ①エコ通勤推進担当者が指名されていること
- ②従業員の通勤実態を把握していること
- ③エコ通勤に関する具体的な取組みを実施していること
- ④エコ通勤プランが作成されていること

3. 認証機関

- ・公共交通利用推進等マネジメント協議会により、認証・登録を行う。
- ・申請窓口は、地方運輸局等、認証・登録にかかる費用は無料。
- ・国土交通省及び交通エコロジー・モビリティ財団で審査を実施。

4. その他

有効期間は2年。1年ごとに取組状況の報告を行い、2回（2年分）の報告の内容により、有効期間を2年延長する。

取組状況報告において報告されたCO2削減量は、京都議定書目標達成計画の実施報告に算入される。認証・登録された事業所はロゴマークの使用が許可され、HP等で公表される。

○表彰の概要

- ・ 環境保全に関する取組みに顕著な功績があった事業者、事業所、団体に対して表彰を行うもので、平成18年度より実施。
- ・ 次のいずれかに該当する活動を行い、他と比べて著しく顕著な功績のあった事業者等に対して行う。
 - 低公害車の導入、普及促進
 - 廃棄物の削減又は適正処理
 - 自動車排出ガスの削減等、環境負荷の軽減
 - 環境に配慮した鉄道車輛、船舶等の開発・導入・運行等
 - 公共交通機関の利用促進
 - その他環境保全に配慮した事業等



○平成27年度の受賞者

受賞団体	概要
京王電鉄株式会社	軽量化車両の導入、回生ブレーキの導入、VVVF装置の導入、上下一括き電化、駅舎補助電源装置、回生電力貯蔵装置の整備等により省エネ化を推進するなど、環境保全に関する活動に取り組んだ。
一般社団法人東京都トラック協会	各車両ごとに燃費データを構築しエコドライブ活動を推進する「グリーンエコプロジェクト」を立ち上げ、CO2排出量の削減に向けた取組を推進するなど、環境保全に関する活動に取り組んだ。
姫新線利用促進・活性化同盟会	行政と鉄道事業者が一体となり自動車から鉄道への利用転換を図り、2年間の社会実験を経て増便運行を継続することによって鉄道利用者数を増やすなど、環境保全に関する活動に取り組んだ。
豊田市	市職員のマイカー通勤抑制策を実施するとともに、市内の民間事業者と協働し、通勤時の渋滞緩和を目的とした「豊田エコ交通をすすめる会」を運営するなど、環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ。
豊岡市	市が中心となり、地域が一体となって、公共交通機関の利用促進を目的とした「e通勤プロジェクト」の取組を継続的に展開するなど、環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ。